

参考値

福島第一 物揚場前、1～4号機スクリーン、1～4号機取水口内 海水核種分析結果 <1/3>

(データ集約：9/27)

採取場所	福島第一 物揚場前海水				福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		福島第一 1号機スクリーン海水 (シルトフェンス外側)		福島第一 1号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日 時刻	平成23年9月26日 6時43分		対象外		平成23年9月26日 6時52分		平成23年9月26日 7時00分		平成23年9月26日 7時02分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	-	-	33	0.55	28	0.47	67	1.1	60
Cs-137 (約30年)	34	0.38	-	-	ND	-	ND	-	53	0.59	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 その他の核種については評価中。
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約12Bq/L、Cs-134が約26Bq/L、Cs-137が約29Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

参考値

福島第一 物揚場前、1～4号機スクリーン、1～4号機取水口内 海水核種分析結果 <2/3>

(データ集約：9/27)

採取場所	福島第一 2号機スクリーン海水 (シルトフェンス外側)		福島第一 2号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		福島第一 3号機スクリーン海水 (シルトフェンス外側)		福島第一 3号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		福島第一 4号機スクリーン海水 (シルトフェンス外側)		炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日 時刻	平成23年9月26日 7時06分		平成23年9月26日 7時10分		平成23年9月26日 7時18分		平成23年9月26日 7時20分		平成23年9月26日 7時18分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)									
I-131 (約8日)	ND	-	40								
Cs-134 (約2年)	ND	-	36	0.60	28	0.47	51	0.85	26	0.43	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	31	0.34	33	0.37	58	0.64	44	0.49	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 その他の核種については評価中。
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約12Bq/L、Cs-134が約26Bq/L、Cs-137が約28Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

参考値

福島第一 物揚場前、1～4号機スクリーン、1～4号機取水口内 海水核種分析結果 <3/3>

(データ集約：9/27)

採取場所	福島第一 4号機スクリーン海水 (シルトフェンス内側)		福島第一 1～4号機 取水口内南側海水		福島第一 港湾口						炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日 時刻	平成23年9月26日 7時20分		平成23年9月26日 7時30分		対象外						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	-	-	/	/	/	/	40
Cs-134 (約2年)	56	0.93	140	2.3	-	-	/	/	/	/	60
Cs-137 (約30年)	51	0.57	180	2.0	-	-	/	/	/	/	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 その他の核種については評価中。
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約14Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。